

1995年度事業報告

■総会の開催

日時: 1995年6月15日(木)、10:00-10:30
場所: 北海道大学百年記念会館会議室
議題: 1. 1994年度事業報告・収支決算
2. 1995年度支部役員案
3. 1995年度事業計画・収支予算案

■第1回理事・幹事会の開催

日時: 1995年6月15日(木)、12:00-13:00
場所: 北海道大学百年記念会館会議室
議題: 1995年度事業計画・収支予算

■研究発表会の開催

日時: 1995年6月15日(木)、10:35-12:00、13:00-15:45
場所: 北海道大学百年記念会館会議室
出席者: 102名
プログラム: 座長 原 文宏(北海道開発技術センター)、金田安弘(日本気象協会)、
榎本浩之(北見工大)

- 凍土方式による大きな木の厳冬期の移植について
斎藤新一郎(専修大北海道短大)、田口和幸(KKケイセイ中標津出張所)
- ニオイヒバの雪害形態とその対策としての裾枝打ちについて
斎藤新一郎(専修大北海道短大)
- 雪や氷に親しむ教材の理科教育への活用
永田敏夫・中里勝平(道立理科教育センター)、河原英男(紋別市立南が丘小)
- 水や氷を素材とする科学教材 「霜柱を育てる」
矢作 裕(北海道教育大・釧路)
- 積雪路面の歩行・ランニングの運動強度
須田 力・中川功哉(北大・教育)、秋田谷英次(北大・低温研)、原 文宏(北海道
開発技術センター)
- 雪結晶のフラクタルについて(その1)
安武 学(砂川市役所)、油川英明(北海道教育大・岩見沢)
- 風洞実験による吹雪粒子のスプラッシュ過程の研究
杉浦幸之助・西村浩一・前野紀一(北大・低温研)
- 弱層に着目した広域積雪調査
尾関俊浩・秋田谷英次(北大・低温研)
- 十勝連峰のOP尾根の雪崩(1994年12月3日)
成瀬廉二(北大・低温研)、中島一彦(北大・工)、杉見 創(北大・農)
- 野外観測及び数値実験による積雪表面霜形成の風速依存性
八久保晶弘・秋田谷英次(北大・低温研)
- 現行の凍結深さ測定に関する問題点と改善方法の検討
外塚 信(札幌道路エンジニア)、石崎武志(北大・低温研)、問谷邦利(日本道路公
団札幌建設局)
- 衛星によるオホーツク海海水の変動
西尾文彦(北海道教育大・釧路)

13. 新路面分類と94/95冬期路面状況

松沢 勝・加治屋安彦・石本敬志（北海道開発局・開発土木研究所）

14. 冬期路面管理における凍結防止剤等の利用動向について

高木秀貴（北海道開発局・開発土木研究所）

15. ロードヒーティングにおける断熱効果に関する一考察

岩本欣也（（株）北海道融雪研究所）、西川康則・佐山惣吾・山口宗広（北海道工業技術研究所）

■機関誌「北海道の雪氷」14号の発行

発行日： 1995年8月31日

発行部数： 350部

■談話会の開催

日時： 1995年10月13日（金）、18:00～20:00

場所： 陸別町タウンホール

テーマ： 「南極観測と私達の生活」

共催： （社）雪氷学会北海道支部 陸別町／陸別町しばれ技術開発研究所／陸別商工会

出席者： 200名

内容：

1. 南極ドーム基地建設（ペンギンの視点から）
齊藤 健（陸別町しばれ技術開発研究所）
2. 宇宙から見た南極（カモメの視点から）
榎本浩之（北見工業大学）
3. 南極の水とグリーンランドの水（モグラの視点から）
庄子 仁（北見工業大学）
4. 極地観測いまむかし（アザラシの視点から）
渡辺興亜（国立極地研究所）

■講演会の開催

日時： 1995年11月28日（火）、18:00～20:30

場所： 札幌市教育文化会館・講堂(4F)

テーマ： 「雪崩から身を守るために」

主催： （社）日本雪氷学会北海道支部/北海道雪崩事故防止研究会

出席者： 204名

講演：

1. 雪の性質と雪崩の発生 秋田谷英次（北大低温科学研究所）
2. 雪崩事故後の初期救助と捜索 阿部幹雄（北大山とスキーの会）
樋口和生（北海道自然体験学校）
3. 雪崩遭難者への医療的対処法 松井 傑（桑園中央病院）
4. 総合討論 (司会) 成瀬廉二（北大低温科学研究所）

■第2回理事・幹事会の開催

- 日時： 1996年3月25日(月)、15:00-17:00
- 場所： 北海道大学低温科学研究所 会議室
- 議題： 1. 1995年度事業報告・収支決算(予定)
2. 1996年度事業計画・収支予算案審議
3. その他